

## 特別講義

### これからの社会，医療，そして看護

日 時：平成21年10月1日 14：25～15：55

場 所：日本赤十字広島看護大学 ソフィアホール

講演者：日本赤十字学園理事長・日本赤十字社副社長 大塚 義治

平成21年10月1日(木), 学校法人日本赤十字学園・大塚義治理事長(日本赤十字社副社長)から本学4年生に向け, 「これからの社会, 医療, そして看護ー皆さんに期待するものー」と題する特別講義が行われた(図1)。スライドやDVDを用いて, 赤十字思想, 日本赤十字社の役割・使命, わが国の医療, 特に看護をめぐる課題と今後の方向についてわかりやすく伝えられた。

DVDは2005年に愛知県で開催された愛・地球博の赤十字・赤新月パビリオンでも使用されたもので, そこでは7分間の映像を見るために, 最長で6時間待ちが起き, 会期中の来場数も47万人, 集まったメッセージも5万通だったことが紹介された。パビリオンで上映された世界の紛争犠牲者や自然災害の被災者の映像が流されると, 学生たちはその悲惨さを目のあたりにして, 平和や安全・安心な社会のありがたさをかみしめながら, 熱心に映像に見入っていた。

また, 「惻隱の情(心)」という孟子の言葉を示され, 他人の苦しみを見過ごしにできない心ということ, 赤十字の精神に通ずると述べられた。最近の社会保障・医療・看護を取り巻く大きな環境の変化として, 人口構造の変化(少子高齢化), 経済・財

政と社会保障・医療, 人的医療資源と医療提供体制を挙げられた。看護をめぐる課題としては図2のような論点を提示され, これからの看護について図3に示した3つの仮説を話された。

ご多忙にもかかわらず, 学生のために大変有意義な講義をしていただき, 本学教職員一同心からお礼申し上げたい。

#### 看護をめぐる課題…… 私はこんなふうに考える

- 看護需要の高まり～看護職員の確保  
・第6次看護職員需給見直し, 離職防止対策 など
- 看護職の資質の向上  
～医療・看護の高度化, 医療事故防止などへの対応  
・基礎教育・卒後教育の充実, 専門・認定看護師制の整備 など
- 本格的な在宅医療への体制づくり  
・訪問看護事業の充実, 緩和ケア・終末期医療に関する制度の整備 など
- 新しい動きへの対応～各医療職種との業務見直し  
・各医療職種との新たな連携・機能分担についての積極的取り組み

図2 看護をめぐる課題



図1 大塚理事長による特別講義の様子

#### これからの看護 ～私の考える3つの仮説

- ①在宅医療がさらに進展し, その中核は看護師が担うことになる。
- ②看護業務の専門分化・高度化が進み, 関連の資格も多様化する。
- ③関係職種との連携の態様が変わり, 看護師の業務範囲が拡大していく。

図3 これからの看護

